

日常生活の指導

「日常生活の指導」は、生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するものです。衣服の着脱、歯磨き、手洗い、排泄、食事、清潔等の基本的生活習慣の内容や挨拶、言葉遣い、礼儀作法、時間やきまりを守ることなどの日常生活や社会生活において必要な基本的内容を学習します。それらは、卒業後の生活にもつながる大切な学習です。本校中学部の日課では、登校後の「朝の活動」、昼の「給食」・「清掃」（単一学級のみ）、下校前の「帰りの活動」があります。

〇〇さん、元気ですか？



「朝の活動」では、登校後の着替えや朝の会等を行い、健康観察をする、一日の見通しを持たせる等、一日の学習活動がスムーズに行えるように取り組めます。

「昼の活動」では、単一学級の生徒は掃除を行っています。毎日繰り返し取り組むことで、手順を覚え、主体的な活動となっています。



隅々まで掃除機をかけます。



ていねいに配ります。

「給食」では、配膳当番を決めて、食事の準備を行っています。ストロー、牛乳、パン配りなどを数の学習につなげています。御飯やおかずのつぎ分けは、数量の学習にもなります。給食をバランス良く取った後、食器の片付け、テーブル拭き、各自の椅子上げまで責任を持って行う学習を行っています。

「帰りの活動」では、一日の反省をいろいろな手段で表現し、他の人の話も聞きます。また、次の日の学習に向けて、意欲が湧くようにします。



全部おいしく食べました。片付けも自分で行います。

